

V 県民の文化活動を盛んにする

1 文化の振興

(1) 県民文化芸術活動の振興 << 施策 25 >>

社会教育課

令和元年度 施策の基本的なねらい

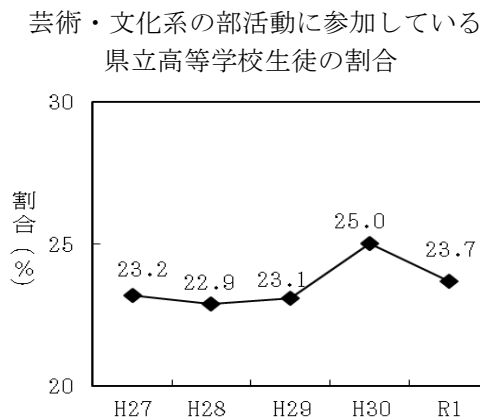
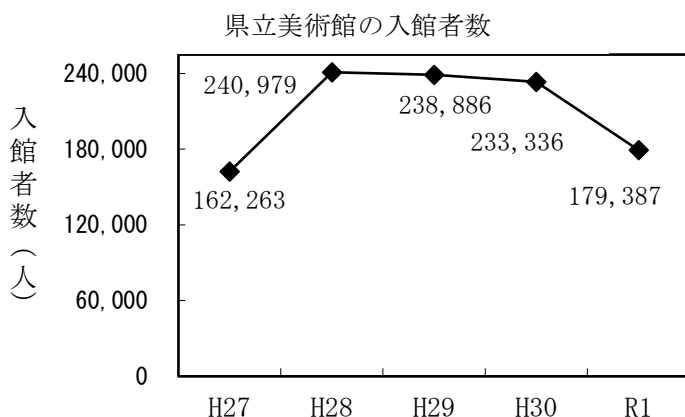
- ◇ 次代を担う子どもたちの創造性を育み、多様な個性と豊かな人間性の形成を図るため、関係機関との連携を強化しながら、子どもの文化芸術活動を推進します。
- ◇ 県立美術館の機能充実に努め、県民の鑑賞・創作活動の促進を図ります。

令和元年度 主な取組・事業

取組・事業名	実績
子ども文化事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県民文化祭「鑑賞・発表事業」の実施 3市1町 ○ 県民文化祭「芸術体験講座」の実施 20校 (小学校 15校、中学校 3校、特別支援学校 2校)
中学校文化連盟 ^{注1)} 、高等学校芸術・文化連盟 ^{注2)} への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福岡県芸術・文化活動事業補助金の交付 ○ 総合文化祭の開催に関する広報協力など
県立美術館の機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 展覧会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 常設展 (コレクション展Ⅰ) 「特集：おりおりのおり-四季と着物の折と織-」 (コレクション展Ⅱ) 「江上茂雄特集」 (コレクション展Ⅲ) 「特集：山口睦男と福岡の美術家たち」 ・ 企画展 「郷土の美術をみる・しる・まなぶ 2019 新たな高島野十郎」 「赤星孝と赤星信子展」 ・ 実行委員会展 「ウォルト・ディズニー・アーカイブス展」 「大相撲展福岡」 ・ 令和元年度福岡県立美術館所蔵品巡回展 「移動美術館展」 (那珂川市で開催) ・ 第75回福岡県美術展覧会(県展) (出品総数 2,822点、入選総数 1,323点) ○ 県民の芸術活動発表の場としての展示室貸出(46団体) ○ 美術館レター「とっぷらいと」の発行(年3回)及び美術教養講座等の実施 ○ スクール・ミュージアム事業(アートコース)の実施(23校) ○ 作品の購入(高島野十郎「からすうり」)

指 標

指 標	指 標 の 概 要	現 状 値	目 標 値	達 成 状 況
県立美術館の利用	県立美術館入館者数	179,387 人 (R1 年度)	160,000 人 (毎年度)	◎
文化部活動の推進	芸術・文化系の部活動に参加している 県立高等学校生徒の割合	23.7% (R1 年度)	23% (毎年度)	◎



※ 令和2年2月～3月 新型コロナウイルス感染症拡大防止措置のため休館

成 果

県立美術館において、県民の芸術的ニーズに応えた展覧会を開催できたことにより、入館者数が目標値を上回りました。

- ・ 県民文化祭において、知事部局と連携し、「鑑賞・発表事業」を県内市町村で、「芸術体験講座」を県内の小・中・特別支援学校で実施しました。特に「芸術体験講座」において、楽器演奏、能楽、和太鼓等の体験及び鑑賞を行ったことが、児童生徒から好評価を得ています。
- ・ 福岡県高等学校芸術・文化連盟及び福岡県中学校文化連盟の主催する総合文化祭の開催等に対し支援を行ったことにより、生徒の文化芸術活動の充実が図られました。
- ・ 県立美術館においては、「ウォルト・ディズニー・アーカイブス展」や「大相撲展福岡」など県民のニーズに応えた展覧会を開催しました。いずれも入場者の満足度は高く、関連イベントも内容を充実させ、多くの参加者で賑わいました。
- ・ 作品を購入し、コレクションの更なる充実を図りました。
- ・ 令和2年2月に「福岡県文化部活動の在り方に関する指針」を策定しました。

課 題

福岡県美術展覧会（県展）については、出品数の減少が続いています。

- ① 今後も引き続き県民の美術に関する鑑賞・創作意欲を高めていく必要があります。
- ② 福岡県美術展覧会（県展）については、出品数の減少が続いています。

対 応

マスコミや民間企業との連携による効果の高い広報や、インターネット等を使った情報発信を積極的に行います。

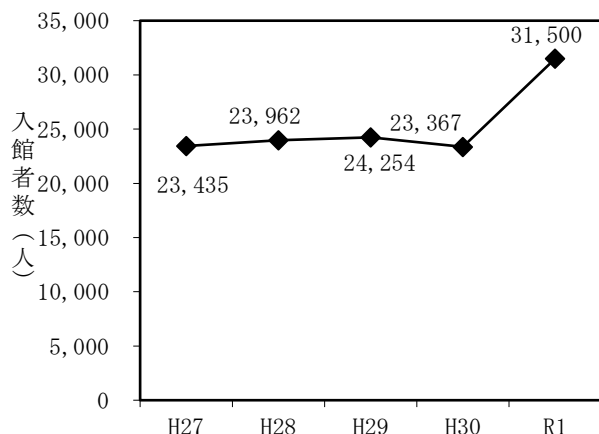
- ① 県立美術館において、県民の芸術的ニーズを重視した実行委員会展を今後も開催するとともに、これまで蓄積した県立美術館の財産やノウハウを生かした展覧会を開催するなど、県民の美術に関する鑑賞・創作活動の更なる促進を図ります。
- ② 福岡県美術展覧会（県展）の出品数の増加や集客力を高める取組として、出品しやすい作品規定への見直しや出品手続きの利便性の向上、マスコミや民間企業との連携による効果の高い広報、インターネット等を使った情報発信を積極的に行います。

注 釈

注1) 中学校文化連盟：県内の中学校及び特別支援学校中学部の生徒の文化活動の振興・発展を図ることを目的に、福岡県中学校総合文化祭等の事業を行っている団体。美術や音楽等11の専門部を有する。

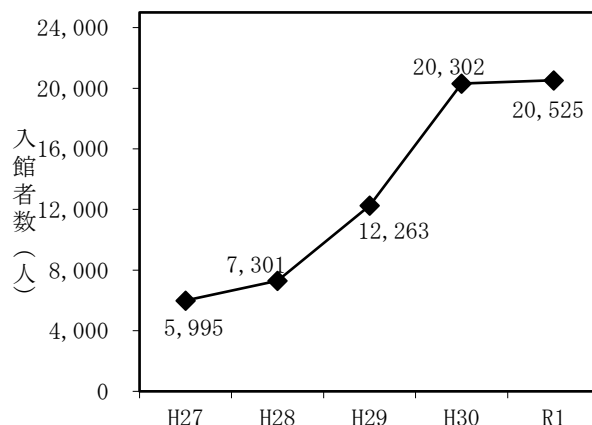
注2) 高等学校芸術・文化連盟：県内の高等学校及び高等部を設置する特別支援学校における芸術文化活動の振興を図ることを目的に、福岡県高等学校総合文化祭等の事業を行っている団体。演劇や吹奏楽等19の専門部会を有する。

九州歴史資料館の入館者数



※平成30年8月～令和元年10月は、耐震化工事のため第1、第3展示室を閉室

旧福岡県公会堂貴賓館の入館者数



成 果 九州歴史資料館は、移転開館後、過去最高の入館者数を記録しました。

- 九州歴史資料館では、常設展をはじめ、特別展、企画展、各種イベントや九歴ボランティア^{注1)}による古代体験等により、発掘調査の成果や大宰府史跡等の歴史文化遺産の魅力を様々な方法で発信し、入館者数は過去最高を記録することができました。
- 旧福岡県公会堂貴賓館では、指定管理者による自主事業の内容の充実や積極的な広報活動などにより、入館者数は過去最高を記録することができました。
- 福岡国際交流史発信事業によって、多くの人々に様々な方法で、福岡県の歴史的特色である国際交流の歴史及び関連する文化財の魅力を発信することができました。
- 福岡歴史文化発信・体感事業によって、子どもたちが歴史文化をより深く体感しながら学習することができるようになりました。

課 題 九州歴史資料館では、新たな入館者の開拓につながる取組が必要です。

- 九州歴史資料館では、多彩なイベントや展示の実施により、入館者は増加傾向にあるものの、目標値を下回っている現状があります。館周辺の開発も進んでおり、近隣住民を含む新たな入館者の開拓につながる取組や学校教育との一層の連携が必要です。
- 旧福岡県公会堂貴賓館については、文化財の保護を図りながら、引き続きその価値や魅力を発信していく必要があります。
- 福岡国際交流史発信事業については、福岡県の歴史についていまだ知られていないことが多くあることから、今後も継続的に文化財の魅力を発信していく必要があります。
- 福岡歴史文化発信・体感事業については、文化財の確実な継承のため、より多くの県民に文化財への興味関心を抱いていただく必要があります。

対 応 九州歴史資料館においては、市町村や学校、民間企業等と連携した展示やイベントを実施します。

- 九州歴史資料館においては、入館者の拡充を図るため、県内市町村、国立博物館や他県施設と連携した展示や講演会等の開催、学校や民間企業等と連携したイベントを行うとともに、あらゆる来館者に配慮した展示を行います。
- 旧福岡県公会堂貴賓館については、指定管理者と連携協力しながら、貴賓館の魅力を生かした事業を実施するとともに、ホームページや各種媒体を活用した積極的な情報発信を行います。
- 令和2年度の特別史跡大宰府跡・水城跡の史跡指定100周年に合わせ、記念式典や映像資料の作成等を行います。
- 古代体験の充実、文化財調査記録のデジタル化、移転開館10周年を記念した福岡県にゆかりのある文化財の里帰り展を行います。

注釈

注1) 九歴ボランティア：九州歴史資料館では、土曜、日曜、祝日に、歴史体験イベントや館内案内に必要な知識・技能を身に付けたボランティアによる研修講座や体験イベント、バックヤード解説を行っている。令和2年3月現在、34人が登録されている。